

New Creation Church in Kyoto since 1997

Miracles



2019年11月10日号 No.1179

1つの体！

主管牧師 藤林イザヤ

本日は、久々の聖餐式礼拝を行います。ここしばらく実施していなかったため、中には初めて！！という方もおられることでしょう。こうして実施できるようになりましたことを、心から感謝しています。

今回から、使用してみようと思っているものが、以下の写真の聖餐セットです。“Fellowship Cup (フェロシップ・カップ)” という名前でした。聖餐は英語で“Holy Communion (ホーリーコミュニオン)” と言います。まさに「聖なる交



わり！」ですね。なので、主イエス様の十字架との深い結びつきを、文字どおり「噛み締めて味わう」機会となることを心から願っています。

今回は各地におられる兄弟にも、同じタイミングで与って頂けるように、既に発送してお届けしています。聖なる交わりに参与した兄弟が、みんな結び合わされて、1つの体とされるのです。同じパンと同じ葡萄ジュースに与るので、一つになります。まさに今年のラグビーで流行りました“One Team!”は、キリスト教会においては2千年前からのことです。

この聖餐セットは、1999年10月に行われた2000年フェスタの聖日礼拝で用いられたものでした。この時は、アメリカから来日された方が、持参されたのです。その数4千個。凄い量でした。運ぶのに、相当重かったのも覚えています。ともあれ、今回は各地の兄弟も1つの体とされます！感謝です。

2019年11月10日(日) 聖日礼拝 11時00分

主題『記念と想起!』

説教者：藤林イザヤ

聖書箇所 I コリント11.23-26

23 わたしがあなたがたに伝えたことは、わたし自身、主から受けたものです。すなわち、主イエスは、引き渡される夜、パンを取り、24 感謝の祈りをささげてそれを裂き、「これは、あなたがたのためのわたしの体である。わたしの記念としてこのように行いなさい」と言われました。

25 また、食事の後で、杯も同じようにして、「この杯は、わたしの血によって立てられる新しい契約である。飲む度に、わたしの記念としてこのように行いなさい」と言われました。

26 だから、あなたがたは、このパンを食べこの杯を飲むごとに、主が来られるときまで、主の死を告げ知らせるのです。

《聖餐を行う意味は、記念!》

パウロ自身も、主から、つまり初代教会の人々から教えられたこと!
→記念とは、思い起こす機会のことで、過去の出来事を現在化する!
⇒主の再臨の時まで、地上の営みが続く限り、十字架を宣べ伝える!

ヨハネ伝 6.53-58

53 イエスは言われた。「はっきり言うておく。人の子の肉を食べ、その血を飲まなければ、あなたたちの内に命はない。54 わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む

者は、永遠の命を得、わたしはその人を終わりの日に復活させる。

55 わたしの肉はまことの食べ物、わたしの血はまことの飲み物だからである。

56 わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、いつもわたしの内におり、わたしもまたいつもその人の内にいる。57 生きておられる父がわたしをお遣わしになり、またわたしが父によって生きるように、わたしを食べる者もわたしによって生きる。

58 これは天から降って来たパンである。先祖が食べたのに死んでしまったようなものとは違う。このパンを食べる者は永遠に生きる。」

《聖餐に与る意味は、新創造体験!》

主の聖餐に与ることは、主イエスの肉と血に与ることである!

→神の命である永遠の命を得て、死んでも復活の命に歩むことになる!

⇒聖餐に与りながら、キリストの命が生み出す新創造を体験する!

(メッセージ・ポイント)

① 聖餐にあずかり、

十字架の恵みを（ ）しよう！

Cf ルカ伝 22:19

19 それから、イエスはパンを取り、感謝の祈りを唱えて、それを裂き、使徒たちに与えて言われた。「これは、あなたがたのために与えられるわたしの体である。わたしの記念としてこのように行いなさい」

Cf 創世記 28:18-19

18 ヤコブは次の朝早く起きて、枕にしていた石を取り、それを記念碑として立て、先端に油を注いで、19 その場所をベテル（神の家）と名付けた。ちなみにその町の名はかつてルズと呼ばれていた。

創世記 28:17

17 そして、恐れおののいて言った。「ここは、なんと畏れ多い場所だろう。これはまさしく神の家である。そうだ、ここは天の門だ」

② 聖餐にあずかり、

() を生きよう！

C ㊦ ガラテヤ書 2.20

20 生きているのは、もはやわたしではありません。キリストがわたしの内に生きておられるのです。わたしが今、肉において生きているのは、わたしを愛し、わたしのために身を献げられた神の子に対する信仰によるものです。

C ㊦ II コリント 5.16

16 それで、わたしたちは、今後だれをも肉に従って知ろうとはしません。肉に従ってキリストを知っていたとしても、今はもう、そのように知ろうとはしません。

17 だから、キリストと結ばれる人はだれでも、新しく創造された者なのです。古いものは過ぎ去り、新しいものが生じた。

牧師の心（藤林邦夫の日記から）

1957年10月14日 月曜日 晴

今日一人で療養所へ行った。岸良姉が退所されてから中島、坂田の両兄のみの集会である。しかし飛躍の時を主は与え給うであろう。その時まで一粒の麦として進んでいかねばならない。自分のやっていることが時々恐ろしくなる。絶えず神の霊に満ち語り得る者とならねばいけない。夜はろうあ者の第一回特別集會。ろう者4人、健常者3人であった。ろう者は自主的に集會を持ち、熱心さの点に於いては他をしのいでいると思う。

1957年10月16日 水曜日 曇

伝道者の喜びは主のために十分働けたと思える時にある。今夜の祈禱会は充実した素晴らしい集會であった。私の語るべく示されたことと安田姉の証とがぴったりと一致したので愉快であった。主の導きは的確である。はずれがないのである。この集會に来る霊に必要なマナを常に十二分に与え、満ち溢らしめなければならない。伝道者の責任重しである。信者の霊を生かすも殺すも指導者如何である。指導者が死んでおるなら信者も死んでいる。故に集會に活力がないことは大なる指導者の責任である。先ず自ら満たされよ。さらば信者すべては生き働くべし。益々集會に力を注ぎ、主の働きを期待申し上げねばならない。

1957年10月17日 木曜日 晴時々しぐれ風強し

会報第三号を発行する。充実した内容のものである。信仰の証があることは世に対して力強い勝利である。この会報に於いてさえ神の霊の働きが現れて来るから不思議である。多くの兄姉方に送った。喜んでいただけると思う。

1957年10月18日 金曜日 晴時々しぐれ

寒くなって来た。朝方の冷氣に身にしむ。が、爽やかだ。今年の秋は去年より身体が弱っている様にも考える。多分労働しないからであろう。太陽の下、栄養ある空気をすって働いておるのは人間としてあるべき姿ではないかと思われる。去年の犬山に於いての働きは時として辛かったがしかし今から考えると良き祝福された時であったのである。なつかしい気持ちさえる。人間は勝手なもので過去のことは悪いことを忘却し美化して考えるから思い出は楽しく甘いものに思えるのである。しかし現在を充実して生きている時、人は過去をあまり振り返らない。未来を見つめて行かねばならないのである。

★今週の予定

2019年11月14日(木) BLD 祈禱会 アバハウス2階 19:30-
今週も主の語り掛けと御業を期待して集い、共に祈りましょう。

★礼拝のご案内

日曜日 教会学校・New Creation Seminar 9:30- アバハウス3階
聖日礼拝 11:00- アバハウス1・2・3階
手話礼拝 11:00- アバハウス1階(第三週目の聖日礼拝)
支援礼拝 13:30- アバハウス2階
ろうあ者学び会 14:00- アバハウス3階(第三週日曜日)
木曜祈禱会 19:30- アバハウス2階

★11月の予定

10日(日) 聖餐式聖日礼拝 アバ 11:00-
ミラクワ定期練習 アバ2階 15:00-
14日(木) BLD 祈禱会 アバ2階 19:30-
17日(日) 聖日礼拝 アバ 11:00- 今井直喜師 ※イザヤ師:ひばり
19日(火) アグロー祈禱会 アバ2階 18:00-
20日(水) ミラクワ定期練習 アバ2階 10:00-
21日(木) BLD 祈禱会 アバ2階 19:30- 加瀬宣雄師
24日(日) 聖日礼拝 アバ 11:00- 今井直喜師 ※イザヤ師:Baguio
ミラクワ定期練習 アバ2階 15:00-
27日(水) ミラクワ定期練習 アバ2階 10:00-
28日(木) BLD 祈禱会 アバ2階 19:30-

◆2019年11月7日(木)の祈禱会出席者数 《合計19名》

◆2019年11月3日(日)の礼拝出席者数 《合計68名》

CS…6名 礼拝…39名 ズーム…10名 支援…13名

京都中央チャペル (αβα - HOUSE)

〒604-0845 京都市中京区烏丸御池上る二条殿町540

Tel: 075-229-3058 Fax: 075-229-3059

<http://www.chuochapel.com>

郵便振替 01090-3-52922 名義: 京都中央チャペル